

さくら通信

2017年度
第3号
2017年8月発行



病院理念

地域から信頼される、思いやりと礼節のある、患者さん中心の医療の実践

基本方針

- 患者さんの尊厳と権利を尊重します。
- 医療の質と安全の向上に努めます。
- 24 時間体制の救急医療を実践します。
- 丁寧な説明と同意に基づく医療を実践します。
- 連携と協力により、地域に開かれた医療を提供します。

目次 ~ Contents ~

- * 新しい仲間が増えました P1
- * 事務長・優良職員のご紹介 P1
- * 看護の日イベントを開催しました P4
- * ごぞくら保育園で遠足に行きました P5
- * バレーボール大会に参加してきました P5
- * T.F.Revolution~春の陣~を開催しました P6

新しい仲間が増えました

今年度も新入職員が看護部 11 名、医事課 4 名、薬剤科 2 名、栄養科 1 名、リハビリテーション科 21 名の計 39 名入職してくれました。毎年 4 月になると私自身が新入職員だった時のことを思い出します。「あの時は青かったな…」と。それはさておき当院の毎年新入職員は配属先に関わらず合同で研修を数日受けてから、各配属での研修に臨みます。会議室はフレッシュな面々の熱気でムンムンになります。これからの桜ヶ丘中央病院を担ってくれるスタッフをどうぞよろしく願いたします。



事務長・優良職員のご紹介



当院が所属する上尾中央医科グループ(AMG)では、毎年 10 年勤続者、20 年勤続者、30 年勤続者などと長年 AMG に貢献してくださっている職員に敬意を表し表彰を行っております。今年度当院からは 15 名の表彰者がいらっしゃいますので紹介させていただきます。

二列目左から
倉島係長、植野さん、酒井事務長、
野路さん、松本主任、田中主任、
渡邊主任、大島課長、藤田係長
一列目左から
中村さん、浅野看護部長、島崎院長、
小針さん、佐藤主任

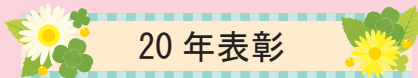
事務長 酒井 篤史

今春より桜ヶ丘中央病院の事務長を務めさせていただいております。おかげさまで当院は本年、新築移転をして 5 年目を迎えます。病院運営には、平素より地域の皆様のひとかたならぬお力添えを賜り、厚く御礼申し上げます。

当院の病院理念は「地域から信頼される、思いやりと礼節のある、患者さん中心の医療の実践」

です。地域における当院の役割を、患者さん第一主義をもって実現出来るよう、精進いたします。

患者さん、地域の方々、職員と日々のコミュニケーションを積極的に取るよう心がけております。お陰様で地域の温かい和に恵まれ、着任して3か月が経ちました。少しでも永くこの場所で勤めることができるといいです。今後ともご指導・ご鞭撻のほど、宜しく願い申し上げます。



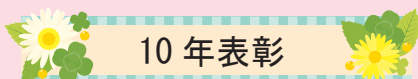
20年表彰

看護部係長（4F） 倉島 輝彦

振り返ってみると、あっという間の20年でした。患者様中心の看護の実践、看護学生の実習、新人指導、次世代育成。がんばっていきます。

放射線科主任 松本 剛

あっという間の20年でした…。患者様が安心して医療を受けられるよう頑張ります。



10年表彰

地域連携課 植野 まりこ

患者様のために自分が出来る精一杯の支援をしていきます。そのためにたくさんの経験をして、知識を深めていくように努めます。

医事課 野路 和彦

10年を思い出してみると、楽しいことや苦しいこと色々なことがありました。これからも病院に貢献できるよう頑張りますので、よろしく願いいたします。

眼科主任 田中 将之

地域から必要とされる眼科をめざしてこれからも頑張ります。

総務課主任 渡邊 裕太

入職して10年が経過しました。10年間という月日が経つのは意外と早いものでした。この10年で自分は何を学び、仕事に活かすことが出来たかを考えると、まだまだ少ないと実感しております。

地域連携課長 大島 裕樹

私は平成19年4月1日に上尾中央医科グループの当院に入職になりました。実家は新潟県ですが当時は群馬県に住んでおり、グループの埼玉県病院を希望しておりました。もし神奈川、山梨へ配属だったら、違う病院の採用試験を受けようと考えておりましたが、配属先が決まったのが平成19年3月中旬でした。すでに他の病院や就職先を探す気力がなく、とりあ

えず、頑張ってみようという安易な気持ちで入職したことを思い出します。それが今や10年で中堅のポジションとなり、現在の住まいも「住めば都」状態になっております。ここまで勤務できたのも病院スタッフ、院外施設スタッフ、そして患者さんからお言葉をいただき、支えられ、成長をさせていただいたからだと思っております。引き続き、多くの方からのご指導を宜しくお願い致します。

総務課係長 藤田 秀樹

『初心を忘れずにがんばります。』

健康管理課 中村 友莉恵

10年を振り返って楽しいこと、苦しいこといろいろありました。続けてこられたのも先輩方に相談にのっていただき、後輩の成長を見て私も負けないように頑張ろうと思えたからです。これからも頑張りますのでよろしく願いいたします。

放射線科 小針 裕子

患者様が安心して検査を受ける事ができるように努めます。

看護部主任（外来） 佐藤 正江

10年勤務できた事に感謝です。今後も思いやり、やさしさに心がけ、頑張っていきたいと思っております。

看護部主任（外来） 熊谷 英理

入職してもう10年が経ちました。入職当時は右も左も分からぬ若輩者でしたが、先輩方は温かく迎え入れて下さいました。この10年を振り返ってみると、東日本大震災や病院の新築移転、外来時間の変更や診療科の変更など大小さまざまなことがありました。時には困難に立ち向かわねばならないときもありましたが、いつだって自分の周りには頼もしい先輩や仲間たちがいて、協力し合いそれらを乗り越えてきました。皆に助けられ、支えられ、ここまで続けてくる事が出来ました。この感謝の気持ちを忘れずに今後も桜ヶ丘中央病院に勤めていきたいと思っております。

看護部（5病棟） 黒田 真由美

一緒に働く同僚、スタッフに恵まれ話しを共有できる友人にも出会うことが出来、楽しくあっという間に10年の月日が流れていました。

リハビリテーション科主任 下名 久美子

この10年を振り返ると様々なことがありましたが、同期の仲間や、上司の方・後輩に恵まれて続ける事が出来ました。新人研修の途中からインフルエンザにかかってしまい、出勤初日から休んでしまったこと、寝込んでいるときに上司の方から連絡をいただき、とても嬉しかったことを覚えています。入職してからも色々失敗したり、上手くいかなかったりもりましたが、患者さんからかけていただく言葉や、笑顔に励まされ、頑張ることが出来ました。これからも、自己研鑽を重ね、がんばっていききたいと思っております。

看護の日イベントを開催しました

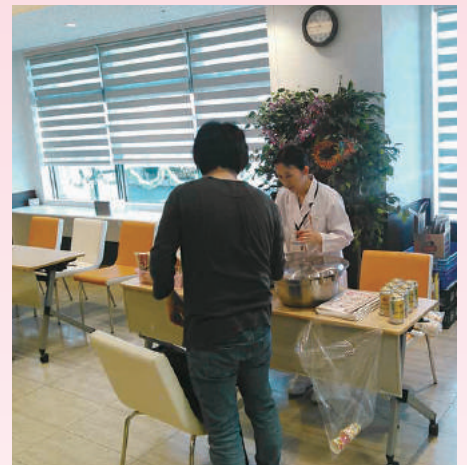


平成29年5月20日看護部主催の看護の日イベントを実施しました。当日は天候も良く多くの方にご参加いただくことが出来ました。有り難うございます。当日積極的にお手伝いをしていただいた看護部新入職員の皆様に感想を伺ってみました。

今回のイベントでは身長、体重、血圧という皆様にも馴染みのチェックから始まり、病院ならではの血糖チェック、肺活量の測定、おもしろいチェックとしては手洗いチェックも実施しました。手洗いチェックでは医療従事者並みの清潔度を保っている小学生の女の子もいました。保育園で習ってからずっとその方法を守っているとのこと、ステキな習慣だと思いました。その子のお父さんの結果は…。「パパの手汚い!!」でした。

この親子の他にも様々な年代、性別の方にご参加いただき「血圧って実際はどのくらいがいいのかしら」とか、「私の血糖値ってどういう状態でしょうか」、「今まで計ったことがないからおもしろいわね」などと私たちが勉強してきた内容をお伝えできて、新しい発見もありました。血圧が高めの方には栄養科が隣でやっていた減塩みそ汁の試食をお勧めすることも出来ました。簡易的なテストも栄養指導が行えるきっかけや生活習慣を見直すきっかけにもなると体験できました。

看護の日恒例のお子様のナース服体験コーナーにも多くの親子に集まっていただき多くの笑顔を見ることが出来ました。AED体験、リハビリテーション科で行った握力測定、献血車にも参加していただくなども様々なコーナーを提供することができ、皆様の健康や看護への興味をお持ちいただく機会になっていれば嬉しく思い



ます。

また秋口にも実施するそうなので多くの皆様にお会いできることを楽しみにしております。

(看護部 新入職員一同)



こざくら保育園で遠足に行きました

6月6日に高丘公園までお母さんたちが早起きをして作ってくれたおにぎりを持って行ってきました。日ごろから通っている公園ですが、「だるまさんがころんだ」や「はないちもんめ」など、昔からの伝承遊びを取り入れ楽しい時間を過ごし、シートを敷いておにぎりやお菓子を食べるのはピクニックのような気分でどの子どもニコニコでした！子どもの目の高さになって公園を見渡してみると植木・雑草の伸びっぱなしが死角となり、



また壊れかけているたて看板に危険を感じたりします。先日地域の皆様が公園内を綺麗にしてくださっている様子をお見かけしました。お陰様できれいな公園になり、子どもたちも私たち保育士も安心して過ごせるようになりました。これからも子どもたちを連れて遊びに行かせていただきます。本当に有り難うございました。今後ともよろしく願いいたします。

(保育室 保育士 今井 峰子)

バレーボール大会に参加してきました

平成29年5月14日にさいたま市記念総合体育館にて第53回 AMG バレーボール大会が開催されました。

当院が所属する上尾中央医科グループの年に1回の一大イベントに関東各地より約4500名の職員が集結しました。当院は一勝一敗という結果で、残念ながら決勝リーグに進めなかったのですが、今年も選手は力一杯プレーをしてくれました。今回は入職1年目から5年連続5回目の出場を果たしてくれたバレーボールチームの主軸を担ってくれている地域連携課社会福祉士の小林容子さんからお話を伺いました。



小野) 当日を振り返ってみていかがでしょうか。

小林) 毎年毎年感じていることなのですが、いつもゲーム開始直後が弱いんです。

みんな緊張しちゃって… (笑)。

小野) そんな中一試合目の結果はどうでしたか。

小林) 途中から持ち直して頑張ったのですが、最終的には14 - 15と競り負けてしまいました。

小野) あの試合は残念でしたね。

小林) でも次の試合は勝ちましたよ！！15 - 4ですから本来の力が発揮できました。

小野) あの時、攻撃の菌車があったので、見ていてもとても楽しかったです。

小林) 見ていて楽しんでもらえたなら頑張った甲斐がありました。

小野) 来年の抱負を聞かせてください。

小林) 新しい職員が入ってきてくれたおかげで、今までで一番個人の実力はあると思います。来年は緊張せずに一試合目から勝てるように頑張ります！！

小林さん、忙しいお仕事の間、インタビューさせていただき有り難うございました。



T . F . R evolution ～春の陣～を開催しました

リハビリテーション科では、毎年新入職員を対象とした移乗・移動動作の介助指導を実施しています。また昨年より、移乗・移動動作指導の講師陣で Team.T.F.Revolution (移乗に革命を!) を結成、リハビリテーション科のスタッフのみならず、周辺施設で働いている介護スタッフへの技術提供も行っています。

今回は5月に開催した新入職員へ向けた動作介助の勉強会に、なんと3施設・述べ50名以上の介護スタッフの方々に参加していただきました。

参加された3施設は、当院を入退院された多くの患者様も利用されている施設です。そのような施設の方々と勉強会を通して、現場で感じている苦労を共有、また少しでも介助する側・される側が快適と感じる介助方法についてお伝えできたことで「こんな楽な方法があるのですね」「介助量の多い利用者様へ活用してみます」と嬉しいお言葉もいただき、私自身大変有意義であったと実感しています。

今後も活動を通じて、院内スタッフのみならず多くの介護スタッフへ技術提供ができればと考えております。

移乗・移動の介助について悩んでいる方がいらっしゃれば、岩淵まで気軽に御一報下さい！

(リハビリテーション科 理学療法士 岩淵 裕和)



編集 後記

優良職員の皆さまにコメントをいただき一人ひとりと話をして歩きましたが、皆それぞれ振り返っているときの顔はいい顔をしていました。当院の歴史を作ってくれた方々に感謝の気持ちを改めて持つ機会になりました。私も今年は当院に勤めて7年目となります。10年、20年表彰といったできるように日々精進していきます

編集担当：小野

発行責任

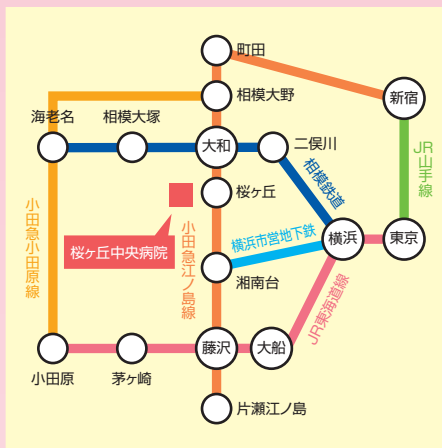
地域連携課 地域連携室・広報担当

■ 車でのアクセス



- 東名高速「横浜町田インターより40分」
- 小田急線桜ヶ丘駅から1分

■ 電車でのアクセス



- 小田急線（江ノ島線）
- 相鉄線（小田急線/大和駅経由）
- 新宿駅 ▶ 桜ヶ丘駅 50分
- 横浜駅 ▶ 桜ヶ丘駅 33分
- 藤沢駅 ▶ 桜ヶ丘駅 17分
- ※ 小田急線 桜ヶ丘駅西口 徒歩3分



医療法人 桜ヶ丘中央病院
社団哺育会

〒242-0024 神奈川県大和市福田1-7-1

TEL 046-269-4111

URL <http://www.sakura-hp.or.jp>

